

## 情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2020 年 5 月 21 日作成

研究課題名	進行卵巣癌における NAC-IDS の化学療法の至適サイクル数の検討
研究の対象	2010 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日までに横浜市立大学附属病院で卵巣癌Ⅲ・Ⅳ期の診断に対して術前化学療法（NAC）および Interval debulking surgery を施行した患者
研究目的 ・方法	進行卵巣癌の標準治療は PDS（Primary debulking surgery）であるが、近年、初回治療として NAC が注目されている。PDS では残存腫瘍を可能な限り残さない optimal 手術が求められているため、時に非常に患者にとって侵襲の高い手術（出血量の増加、重篤な合併症など）となることが問題となっている。一方、NAC は全身状態不良で PDS が困難な症例に対し、NAC 後に腫瘍の完全切除を行えば PDS と同等の予後が得られることがわかっている。既報の臨床試験では NAC として行う化学療法のサイクル数は術前・術後あわせて 6-8 サイクルで施行されており、多くの施設がこれになっているが、本邦のガイドラインで術前・術後に各何サイクル行うべきなのかの規定はない。本研究においてそれを明らかにする。
研究期間	西暦 2019 年 8 月 23 日（許可日）～ 西暦 2020 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	患者基本情報：年齢、臨床進行期、組織型、既往歴、合併症、家族歴 血液検査：CA125 などの腫瘍マーカー 治療内容：使用した化学療法の薬剤、治療日、手術日、治療効果など 経過：再発診断日、生存確認日、死亡日など

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

### 問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院 産婦人科（研究責任者）今井 雄一

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-701-3536